

マテリアリティに関する取り組みの詳細

マテリアリティごとにあるべき姿、成功要因、目標を設定し、年2回のサステナビリティ推進委員会において進捗状況やアクションプランの決定・確認を行い、責任者のもと取り組みを実施しています。

ESG	マテリアリティ	主な取り組み	主な取り組み状況	掲載ページ	Webリンク
E	持続可能な地球環境への貢献	「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」提言および気候変動対応に関する取り組み	「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」による提言に賛同し、関連情報の開示に努めています。当社は、総合的な気候関連戦略の一環として、温室効果ガス排出削減目標を設定し、再生可能エネルギーの導入を拡大し、エネルギー効率を向上させる取り組みを行っています。 主な指標:温室効果ガス排出量 目標:2030年の温室効果ガス排出量を2023年比50%削減 (Scope 1, 2) 実績:6,363t-CO ₂ (前年度比7.1%)削減	» P.51、P.52 » P.49	詳細 WEBサイト »サステナビリティ>環境>気候変動対応への取り組み 詳細 WEBサイト »サステナビリティ>環境>環境理念・環境方針
		環境配慮製品「ULVAC Green Products」認定制度	環境配慮設計に関する当社評価項目について定められた水準を満たす製品を認定しています。	» P.54	詳細 WEBサイト »サステナビリティ>環境>製品における取り組み
		2023年度の環境活動 水の有効利用、化学物質に対する取り組み 環境汚染対策、資源循環 森林再生パートナー制度への参画	地球環境の保全が人類共通の重要課題の一つとして捉え、事業活動のあらゆる面で資源を有効活用するとともに、製品の製造プロセスにおいて、有害化学物質等を適切に管理し、環境汚染と健康被害を予防します。 主な指標:水使用量 目標:水使用量原単位*を2020年以下とする *取水量/売上高(連結) (0.77) 実績:0.55 主な指標:環境事故 目標:重大な法令違反件数ゼロ 実績:ゼロ	» P.50、P.53	詳細 WEBサイト »サステナビリティ>環境>環境理念・方針 詳細 WEBサイト »サステナビリティ>環境>環境データ 詳細 WEBサイト »サステナビリティ>環境>汚染予防への取り組み 詳細 WEBサイト »サステナビリティ>社会貢献活動
S	多様な人材の育成と活躍推進	人財の育成、中核人材の育成	従業員のスキル向上とキャリア発展をサポートするための包括的なプログラムを提供しています。また、「UL-GAIA」(Ulvac Global Awards of Improved Achievement)において「経営基本理念」の実践に関する取り組みを共有し、横展開することで、グループ全体でのシナジーを発揮し、世界中の仲間と共に成長しています。	» P.42~P.43	詳細 WEBサイト »サステナビリティ>人財>人事方針 詳細 WEBサイト »サステナビリティ>人財>人材開発
		多様性の尊重と一体化 働きやすい環境づくり	多様な人材が固有の能力を存分に発揮し、男女、国籍、人種の格差なく働きがいのある職場環境の充実を図っています。従業員がそれぞれに強みを発揮し、生産性を高め、創造性を発揮できるような職場環境づくりにも焦点を当てています。また、エンゲージメント調査を通じて、社員の声を反映させ、多様な人材が活躍できる環境を整備しています。 主な指標:女性管理職比率 目標:2026年6月までにグループ全体で10%以上 実績:9.8% (2023年度)	» P.41、P.43	詳細 WEBサイト »サステナビリティ>人財>働きやすい環境づくり
	健康経営の推進	経営の重要な課題の一つとして健康経営を推進しており、定期的な健康診断、ストレスチェック、運動企画などの取り組みを進め、ワーク・エンゲージメントを高めるための施策を展開しています。	» P.44	詳細 WEBサイト »サステナビリティ>人財>健康経営	
	Value Chain における 人権尊重・責任ある行動	労働安全衛生	開発・製造・輸送・据付・メンテナンスをはじめとする各種の業務遂行にあたり、経営層から現場担当者まであらゆる人が安全を最優先して積極的かつ継続的な改善につとめ、関わる全ての人の安全と健康的な労働環境の維持向上に努めています。	» P.48	詳細 WEBサイト »サステナビリティ>労働安全衛生
		人権 責任ある調達マネジメント	差別/ハラスメントの禁止、雇用の自主性、製品安全と職場の安全衛生・従業員の健康、結社の自由、適切な労働条件の確保に取り組むとともに、モノづくりにおける大切なパートナーであるお取引先様とともにサプライチェーン全体において人権や労働、環境に配慮した責任ある調達に努めています。	» P.45~P.46 » P.47	詳細 WEBサイト »サステナビリティ>人権 詳細 WEBサイト »サステナビリティ>調達
G	真空技術をコアとした イノベーションの創出・共創	開発方針、研究開発の投資方針 イノベーションの創出・共創	お客様との共創が極めて重要であると考え、研究開発を推進し、グループ全体の研究開発資源の最大化と最大の成果を目指しています。また、成長ドライバーとなる半導体分野の強化、装置の付加価値を向上させるために不可欠なソフトウェア開発、次世代未来領域への挑戦を行っています。	» P.27、P.28	詳細 WEBサイト »研究・開発>アルバックの研究開発
		知的資産	「知的資産による事業環境の整備と向上、グループ全体の競争力強化、企業価値向上」を基本方針に掲げ、知的資産の創造・活用に努めています。	» P.30	詳細 WEBサイト »研究・開発>知的資産
	研究開発・知財ガバナンス 技術・知財の共有の場	グループ全体の研究開発体制を統一し、持続的な差別化製品及び新技術の創出、知的財産の取得、開発の迅速化を図ることにより、顧客の要求に応じた最先端製品及び技術をタイムリーに提供し続ける体制を構築し、運営しています。また、知識と技術の共有を進め、産業と科学の発展への貢献を目指しています。	» P.29	詳細 WEBサイト »研究・開発>アルバックの研究開発	
	レジリエントな組織づくり	ULVACのサステナブル経営 コーポレートガバナンス リスクマネジメント ステークホルダーの皆さまとともに	あらゆる事業活動の根底にある経営基本理念をもとに、サステナビリティ方針、2050年にありたい姿、Vision2032、マテリアリティを定め、サステナブル経営を推進しています。コーポレートガバナンスに関しては、組織の透明性を確保し、ステークホルダーの利益を保護するための体制を整えています。これには、適切な監督体制の確立や、リスクマネジメントの強化が含まれます。また、ステークホルダーとの関係を重視し、従業員、顧客、お取引先、投資家、地域社会との対話を通じて、企業価値の向上と持続的な成長を目指しています。	» P.21、P.22 » P.55~P.64 » P.65~P.66 » P.68	詳細 WEBサイト »サステナビリティ>アルバックのサステナブル経営 詳細 WEBサイト »サステナビリティ>コーポレートガバナンス 詳細 WEBサイト »サステナビリティ>リスクマネジメント
		コンプライアンス	企業倫理行動基準を定め、コンプライアンス体制の整備と従業員への啓発を通じて、法令、社内規範、倫理規範等の遵守に努めています。また、通報制度により、不正行為や違反行為の早期発見と是正に努めています。	» P.67	詳細 WEBサイト »サステナビリティ>コンプライアンス